

平成28年度学術情報システム委員会活動報告

1. 会議等の開催状況

第1回 平成28年 9月 5日(月) 於: 京都大学附属図書館

第2回 平成29年 3月14日(火) 於: 京都大学附属図書館

2. 活動内容

2. 1 委員会としての事業内容

- (1) 学術情報の探索・発見・利活用のためのシステム等の基盤形成に関する調査・研究
- (2) メタデータの再構築に関する企画・立案
- (3) 学術情報システムの構築に携わる人材の育成に関する企画・立案
- (4) 大学図書館と国立情報学研究所との連携・協力推進会議、これからの学術情報システム構築委員会及びその他の関連する外部組織との連絡調整

2. 2 検討状況

- (1) 上記の事業内容に係わる次の重点事項に関して、本委員会としての検討の進め方について審議した
 - －NACSIS-CAT/ILLの軽量化・合理化の基本方針への対応
 - －これからの学術情報システムの構築に関する検討への対応
 - －国際ILL検討タスクフォースの検討経緯への対応
- (2) 既存の学術情報システム関連の諸委員会(作業部会、ワーキンググループ)等における検討状況を俯瞰し、今後の方向性を総合的に検討することの必要性を確認した
- (3) それを進めるために、本委員会での議論を情報共有しつつオープンな場で進めることができるコミュニティ構築や、人材育成のあり方についても検討することとした

2. 3 GIFプロジェクトチームの活動

別紙「日米ILL/DDおよび日韓ILL/DDプロジェクト状況報告」を参照。

3. 委員構成

3. 1 学術情報システム委員会

委員長	引原 隆士	京都大学図書館機構長
委員	相原 雪乃	北海道大学附属図書館管理課長
	米澤 誠	東北大学附属図書館事務部長 (平成 29 年 3 月 31 日まで)
	佐藤 初美	東北大学附属図書館情報管理課長 (平成 29 年 4 月 1 日から)
	森 いづみ	お茶の水女子大学図書・情報課長 (平成 29 年 3 月 31 日まで)
		信州大学附属図書館管理課長 (平成 29 年 4 月 1 日から)
	森 仁志	名古屋大学附属図書館長
	大西 直樹	名古屋大学附属図書館事務部長 (平成 29 年 3 月 31 日まで)
	木下 聡	名古屋大学附属図書館事務部長 (平成 29 年 4 月 1 日から)
	甲斐 重武	京都大学附属図書館事務部長 (平成 29 年 3 月 31 日まで)
	米澤 誠	京都大学附属図書館事務部長 (平成 29 年 4 月 1 日から)
	山田 周治	岡山大学附属図書館事務部長 (平成 29 年 3 月 31 日まで)
	大元 利彦	岡山大学附属図書館事務部長 (平成 29 年 4 月 1 日から)
	渡邊 俊彦	鹿児島大学学術情報部長
	細川 聖二	国立情報学研究所学術基盤推進部学術コンテンツ課長 (平成 29 年 3 月 31 日まで)
	小野 亘	国立情報学研究所学術基盤推進部学術コンテンツ課長 (平成 29 年 4 月 1 日から)
	事務	島 文子
鈴木 秀樹		京都大学附属図書館図書館企画課長 (平成 29 年 4 月 1 日から)
井上 敏宏		京都大学附属図書館図書館企画課長補佐 (平成 29 年 3 月 31 日まで)
赤澤 久弥		京都大学附属図書館図書館企画課長補佐 (平成 29 年 4 月 1 日から)

3. 2 GIF プロジェクトチーム

主査	井上 修	大阪大学附属図書館事務部長 (平成 29 年 3 月 31 日まで)
	大西 直樹	大阪大学附属図書館事務部長 (平成 29 年 4 月 1 日から)
	相原 雪乃	北海道大学附属図書館管理課長
	河野由香里	北海道大学附属図書館利用支援課相互利用担当
	庄司 冬彦	東京大学附属図書館情報サービス課相互利用係長
	赤木真由子	一橋大学学術・図書部学術情報課レファレンス係 (平成 29 年 3 月 31 日まで)
	匂坂佳代子	一橋大学学術・図書部学術情報課レファレンス係 (平成 29 年 4 月 1 日から)
	鈴木 秀樹	京都大学附属図書館企画課長
	原竹 留美	京都大学附属図書館利用支援課利用支援掛長 (平成 29 年 3 月 31 日まで)
	奥 友香子	京都大学附属図書館利用支援課利用支援掛 (平成 29 年 4 月 1 日から)

(別紙に続く)

日米 ILL/DD および日韓 ILL/DD プロジェクト状況報告

1. 日米 ILL/DD プロジェクト

1) 「文献複写サービス」参加状況

参加機関数は、平成 29 年 3 月 31 日現在、日本側 171、米国等側 116 であり、平成 28 年 4 月以降、日本側で 3 館の増加、米国等側の変動はなし、である。

2) 「現物貸借サービス」参加状況

参加機関数は、上記同日現在、日本側 96、米国等側 89 であり、平成 28 年 4 月以降、日本側で 2 館の増加、米国等側の変動はなし、である。

3) 日米 ILL/DD 実施状況

平成 28 年度の日米 ILL/DD の実施状況は、表 1 のとおりである。前年に比べ、文献複写と現物貸借を合わせた依頼件数で 6 件増、受付件数で 633 件減となっている。現物貸借の日本側受付が大幅に減少した。平成 22 年度以降の実施状況は表 2 および表 3 のとおりである。

表 1 日米 ILL/DD 実施状況（平成 28 年度）

	依頼件数				受付件数			
	完了	謝絶	その他	計	完了	謝絶	その他	計
文献複写	567	353	0	920	177	354	0	531
現物貸借	171	153	0	324	109	417	0	526
合計	738	506	0	1,244	286	771	0	1,057

表 2 日米 ILL/DD 実施状況の推移（平成 22～28 年度）：日本側依頼

		H22	H23	H24	H25	H26	H27	H28
文献複写	完了	709	1,047	1,005	703	848	598	567
	謝絶	547	611	612	466	516	332	353
	合計	1,256	1,658	1,617	1,169	1,364	930	920
	謝絶率	43.6%	36.9%	37.8%	39.9%	37.8%	35.7%	38.4%
現物貸借	完了	168	263	240	217	225	184	171
	謝絶	187	175	164	249	141	124	153
	合計	355	438	404	466	366	308	324
	謝絶率	52.7%	40.0%	40.6%	53.4%	38.5%	40.3%	47.2%

表 3 日米 ILL/DD 実施状況の推移（平成 22～28 年度）：日本側受付

		H22	H23	H24	H25	H26	H27	H28
文献複写	完了	375	443	302	320	337	248	177
	謝絶	534	538	456	531	466	467	354
	合計	909	981	758	851	803	715	531
	謝絶率	58.7%	54.8%	60.2%	62.4%	58.0%	65.3%	66.7%
現物貸借	完了	184	241	167	218	246	220	109
	謝絶	629	641	590	807	697	755	417
	合計	813	882	757	1,025	943	975	526
	謝絶率	77.4%	72.7%	77.9%	78.7%	73.9%	77.4%	79.3%

2. 日韓 ILL/DD プロジェクト

1) 参加状況

参加機関数は、平成 29 年 3 月 31 日現在、日本側 121、韓国側 333 館となっている。
平成 28 年 4 月以降、日本側では 2 館増加、韓国側で 9 館の増加である。

2) 日韓 ILL/DD 実施状況

平成 28 年度の実施状況は、表 4 のとおりである。前年に比べ、依頼件数は 7 件減、
受付件数は 267 件減である。平成 22 年度以降の実施状況は表 5～6 のとおりである。

表 4 日韓 ILL/DD 実施状況（平成 28 年度）

	依頼件数				受付件数			
	完了	謝絶	その他	計	完了	謝絶	その他	計
文献複写	35	9	0	44	2,269	1,944	0	4,213

表 5 日韓 ILL/DD 実施状況の推移（平成 22～28 年度）：日本側依頼

		H22	H23	H24	H25	H26	H27	H28
文献複写	完了	61	53	78	39	52	41	35
	謝絶	25	10	23	12	9	10	9
	合計	86	63	101	51	61	51	44
	謝絶率	29.1%	15.9%	22.8%	23.5%	14.8%	19.6%	20.5%

表 6 日韓 ILL/DD 実施状況の推移（平成 22～28 年度）：日本側受付

		H22	H23	H24	H25	H26	H27	H28
文献複写	完了	1,987	2,214	2,442	2,668	2,719	2,640	2,269
	謝絶	939	1,099	1,415	1,645	1,854	1,840	1,944
	合計	2,926	3,313	3,857	4,313	4,573	4,480	4,213
	謝絶率	32.1%	33.2%	36.7%	38.1%	40.5%	41.1%	46.1%